SPECIAL ISSUE 不思議なお金 銀行 市民 1

口座を変えれば世界が変わる

お金の使い方・預け方をしっかり選べば、私たち暮らしや未来は変わる。エコロジーな銀行を選ぶために、私たちは貯金のスタイルを変えていくのだ。

文=鈴木亮

すずき・りょう／A SEED JAPAN理事。ニュージーランドのInternational Pacific Collageで環境学を学び、98年からA SEED JAPANに参加。最貧国の債務帳消しキャンペーン「JUBILEE2000」など、様々な南北問題に関わるNGOキャンペーンに関わる。

数年前まで青色吐息だった日本の銀行。生き残りをかけて合併を繰り返しながら、不良債権の処理にあたってきた。おかげで、3年前は8％を超えていた大手銀行の不良債権比率は4％台にまで下がり、銀行は息を吹き返しつつある。銀行には暗黒の時代だったここ十数年、私たち市民にとっても暗い時代だった。しかしこの時代は、私たちに「銀行とは、金融とは一体何なのか」ということを考える機会を与えてくれた。この問題を考えていくと、日本の銀行が「公共性を失っている」ことに気がつく。

まず第一に、何のための銀行なのか、わからなくなっている。大手銀行の大口融資先（図1）を見てみると、消費者金融会社が名を連ねている。銀行が私たちに融資をする際の年利は2・375％である。一方で私たちが預金をして受け取る年利が0・001％*である。この差が高いか安いかの議論は一旦置いておき、その銀行は、なぜが多額の資金を年利8～29％の消費者金融、いわゆる高利貸しに金を融資している。銀行の能力そのものといっても過言でない審査能力、つまり目利き力の無さを棚に上げて、貧乏人であっても取り立てるシステムを持つ消費者金融を安全な融資先お得意様にしているのである。

公共性を失った銀行

第二に、融資基準に環境・社会的な配慮が欠けていることがあげられる。違法伐採した木材を流通している商社、温暖化対策をほとんどしない工場、生態系に重大な悪影響を及ぼす恐れのあるリゾートホテル建設であっても、経済性ありと見れば、融資は認められる。シティバンクやバンクオブアメリカといった国際的なメガバンクは、違法伐採、温暖化、人権侵害、生態系への重大な悪影響を与えうる開発には融資をしないという基準を、NGOの圧力によって設けている。日本の銀行は、そのようなネガティブスクリーニング（社会的に問題ある業態を排除する基準）を持っていないのだ。

第三に、本業である融資業務において、社会的事業や社会的弱者に積極的に融資しようという姿勢が弱い（図2）。移民や貧困層の多い米国では、地域再投資法という法律があり、要は貧乏人にも一定の金融サービスを提供しなければ銀行業務が制限されることが法律で定められている。海外では途上国・先進国を問わず、環境事業や社会的弱者のための金融サービスを目的とした「非営利金融機関」は枚挙に暇がない。日本では、労働者のための金融機関である中央労働金庫や生活クラブがそれに当たるが、銀行とは本来、儲けるためではなく、社会の必要な領域にお金を融通することが使命であったはずだ。銀行法第一条には「この法律は、銀行の業務の公共性にかんがみ、信用を維持し、預金者等の保護を確保するとともに金融の円滑を図るため、銀行の業務の健全かつ適切な運営を期し、もって国民経済の健全な発展に資することを目的とする」と書いてある。銀行は儲けるのではなく金融を円滑にする、つまり社会の資金循環を担う公的機能を果たすために存在しており、そのために預金者である私たちのお金を「借りる」のではなく「預かり」、企業や政府に貸すことを認められているのである。

*：みずほ銀行における普通預金と住宅ローンの変動金利方式の場合

図1　メガバンクの大口融資先　※2003年9月末時点　出典：「金融ビジネス」（April 2004、東洋経済）

	みずほ（全貸出未残　61兆8781億円）※みずほコーポレート銀行・みずほ銀行の合算		UFJ（全貸出未残　37兆1202億円）		三井住友（全貸出未残　55兆1726億円）		東京三菱（全貸出未残　34兆2604億円）	
	融資先	貸出残（100万円）	融資先	貸出残（100万円）	融資先	貸出残（100万円）	融資先	貸出残（100万円）
1	オリエントコーポレーション	773,531	ダイエー	426,765	東京電力	370,316	ジャックス	138,107
2	日本信販	265,461	日本信販	339,573	オリエントコーポレーション	222,041	住友商事	128,698
3	ダイエー	212,622	大京	270,032	ダイエー	193,676	ダイヤモンドリース	115,616
4	丸紅	199,436	国際興業	193,588	三井住友建設	163,800	伊藤忠商事	98,492
5	東日本旅客鉄道	178,500	ミサワホーム	161,110	カネボウ	159,202	丸紅	93,447
6	みずほファクター	177,280	阪急電鉄	157,201	住友商事	133,927	近畿日本鉄道	93,399
7	芙蓉総合リース	173,443	藤和不動産	128,349	熊谷組	119,939	三菱電機	82,500
8	伊藤忠商事	152,609	セントラルファイナンス	125,500	伊藤忠商事	117,583	オリエントコーポレーション	79,170
9	いすゞ自動車	136,260	アプラス	123,135	フジタ	115,332	日本電信電話	73,342
10	西友	131,200	日商岩井	122,929	三井不動産	102,560	三菱重工業	70,279
11	JFEスチール	129,556	オーエムシーカード	107,920	住友不動産	98,448	兼松	67,234
12	間組	119,826	ニチメン	102,309	三井鉱山	88,131	東日本旅客鉄道	65,500

大手商社、ゼネコンなども名を連ねるが、消費者金融への融資の多さは群を抜いている。

図2　メガバンクのCSR取組み　※A SEED JAPAN大手都市銀行への公開質問状および独自調査より（www.aseed.org/ecocho参照）

	東京三菱	みずほ	三井住友	UFJ
CSR(*1) ビジョンを導入している	導入している	導入している	導入している	導入している
国連環境計画金融イニシアチブ(*2)への署名	2004年　5月1日	検討中	2002年　7月1日	–
赤道原則(*3)への署名	–	2003年　10月1日	–	–
NPO等・社会的事業への優遇制度について	環境優良企業への金利優遇	震災被災者への金利優遇	–	–
環境報告書、持続可能性報告書(SR)の発行	05年度にSR発行予定	ウェブサイトのみ	–	–
04年度ディスクロージャー誌の環境社会報告のページ数	2ページ	2ページ	13ページ	4ページ
融資を行う際の基準について	金融商品、情報サービスなど www.btm.co.jp/kyousei/eco	金融商品、情報サービス、リスク審査など www.mizuho-fg.co.jp/environment	国際協力銀行の協定書を締結 www.smfg.co.jp/aboutus/environment	–

(*1) **CSR**

Corporate Social Responsibilityの略で、企業の社会的責任のこと。安全で品質のよい製品を提供する、環境に配慮して事業活動を改善していく、関連法規が遵守される組織を構築する、などが挙げられる。

(*2) **国連環境計画金融イニシアチブ**

「金融機関は、環境分野での投融資活動や環境リスクマネジメント、ガバナンスや説明責任・情報開示などを積極的に進めることにより、自らの存立基盤でもある経済社会の持続可能な発展に貢献できる」という金融界の宣言。国連環境計画金融イニチアチブは、この宣言の署名金融機関の自主活動組織である。

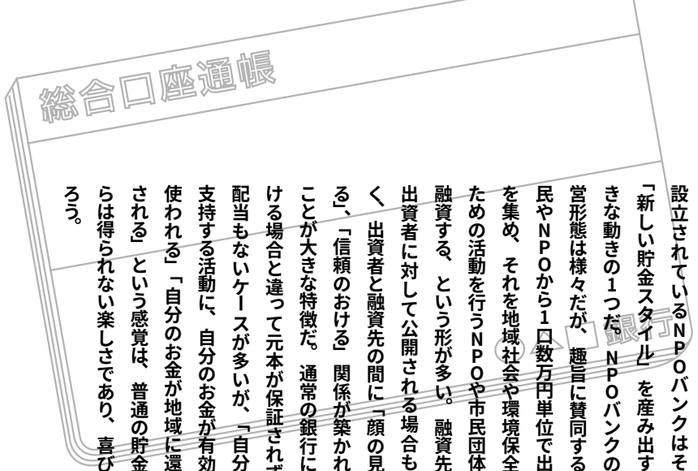
(*3) **赤道原則**

融資を希望するプロジェクトが社会的責任を果たし、適切な環境管理を反映した方法で行われるかどうかを見極め、基準に達していないプロジェクトには融資を行わないという原則。

市民が産み出す新しい貯金

大銀行がその公共性を失った結果、その貸出先は中央の大企業が中心となり、大企業の利益優先の論理の中で私たちの貯金が使われている。そして、地域で本当に必要なことにお金が回らず、地域経済の疲弊・衰退に繋がっている。そんな現状の中、「身近な地域や環境のために自分達のお金を使って欲しい」という市民の声が、エコロジカルな新しい貯金のスタイルを産み出しつつある。

北海道、長野、東京など全国各地で設立されているNPOバンクはその「新しい貯金スタイル」を産み出す大きな動きの1つだ。NPOバンクの運営形態は様々だが、趣旨に賛同する市民やNPOから1口数万円単位で出資を集め、それを地域社会や環境保全のための活動を行うNPOや市民団体の融資する、という形が多い。融資先が出資者に対して公開される場合も多く、出資者と融資先の間に「顔の見える」、「信頼のおける」関係が築かれることが大きな特徴だ。通常の銀行に預ける場合と違って元本が保証されず、配当もないケースが多いが、「自分の支持する活動に、自分のお金が有効に使われる」「自分のお金が地域に還元される」という感覚は、普通の貯金からは得られない楽しさであり、喜びだろう。



環境や社会に配慮した事業に直接出資する形態も広がっている。株式会社自然エネルギー市民ファンドが出資を募集し、大きな反響を呼んだ北海道の石狩市民風車事業はその典型だ。1口50万円とNPOバンクに比べると出資単位は大きいが、目標年間分配利回りは2・4%と、銀行の定期預金よりもかなり高く、資金運用先としても非常に有望だ。出資契約期間は15年間だから、定期預金の1つと思って出資してみるのも悪くないだろう（ただし、石狩市民風車はすでに募集を終了）。また、品川区旗の台にあるオーガニックなパン屋さん「スピカ・麦の穂」が起業資金調達のために募集した「スピカ債」も同様の形態の1つである。1口10万円の出資に対する5%の利子がパンで支払われるという点が非常にユニークだ。スピカ債では、個人的な繋がりと説明会の開催で信頼を獲得し、500万円の開業資金を集めることができたという。規模は小さいが、地域の人々の思いが結実した好例だろう。

こうした新しい貯金スタイルは、金融の流れ全体から見れば、まだまだ小さな動きだ。しかし、着実にその裾野は広がりつつある。こうした動きが地域を変え、日本を変え、さらには世界を変える大きな「うねり」になっていくはずだ。

はじめてみようエコ貯金

貯金とエコロジー。どちらも私たちの日々の暮らし、そして地球の未来に、非常に関係している。そこで私たちは「エコ貯金」を考えてみた。エコ貯金とは環境配慮型貯金スタイルのことで、銀行を便利さや利益だけでなく、どんな社会を実現するためにお金が使われているかによって、自分の銀行を選んで貯金をする。

お金の使い方（預け方）をしっかり選べば、私たちの暮らしや地球の未来は変わる。お金とは、あくまで自己実現したい夢をかなえるための手段のはず。エコ貯金は、自分の夢のために活動してくれるエコロジーな銀行を選ぶ投票行動といえる。選挙で政治家を選ぶように、私たちは貯金で銀行を選ぶのだ。

エコ貯金は、大きく分けて3タイプの金融（銀行、NPOバンク、株式など）の組み合わせで成り立つ。一歩一歩、楽しみながら学んでいきたい。

（左図）
どのエコ貯金タイプも、まず情報を集めることから始まる。前ページの「メガバンクの大口融資先」や「メガバンクのCSR取組み」を参考にすることを手始めに、少しずつ金融機関のエコな情報に触れてみよう。

預貯金型エコ貯金

これまで銀行はどのように選んでいただろうか？ 多くの人は家や職場から近い、利率が高い、破綻の恐れが小さいなどの理由で銀行を選んできたと思われる。しかしこれからの世の中では、銀行がどのような経営理念を持っていてどのような社会を目指しているのか、ということが銀行選択の上で重要である。現代社会には環境破壊、食の安全、少子高齢化、戦争など社会不安は無数にある。銀行は、お金の流れをコントロールすることでそういった社会不安に加担することも、解決することもできる力を持っている。そして私たち預金者にはどちらの銀行を支持するのか選択する権利と責任がある。自分の手元にわずかな利率が残ることと、安全な社会に住めるということを比較し、自分にあったバランスで銀行を選択するのが預貯金型エコ貯金である。預貯金型エコ貯金を実践する際には、従来の銀行の選び方である健全性やサービス性に加えて「社会性」という観点から銀行を見ることが必要である。

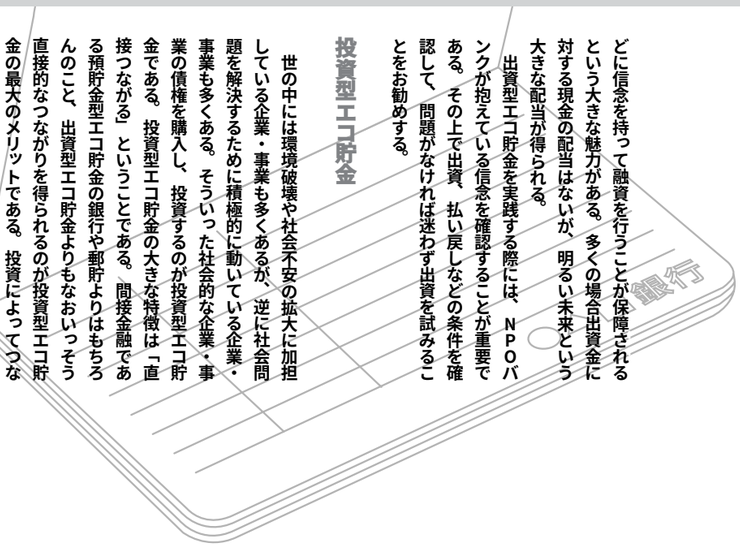
出資型エコ貯金

銀行や郵貯がなかなか社会に配慮した経営をしないことを受けて、確実に社会性のある会社・事業に融資することを目的として設立された非営利の小規模バンク（NPOバンク）に出資することが出資型エコ貯金である。金融機関として成立してはいるが、制度上銀行とは異なるためいくつかの制約を受けてしまうのがデメリットである。例えば、元本保証ができないことや、出資金の自由な引出しができない、などの点だ。しかし現在のところ国内では貸し倒れのケースはない上、定期預金をしたと思えば出資金の引出しの制限もさほど大きなデメリットではない。それ以上に、環境保全や市民事業などに信念を持って融資を行うことが保障されるという大きな魅力がある。多くの場合出資金に対する現金の配当はないが、明るい未来という大きな配当が得られる。

出資型エコ貯金を実践する際には、NPOバンクが抱えている信念を確認することが重要である。その上で出資、払い戻しなどの条件を確認して、問題がなければ迷わず出資を試みることをお勧めする。

投資型エコ貯金

世の中には環境破壊や社会不安の拡大に加担している企業・事業も多くあるが、逆に社会問題を解決するために積極的に動いている企業・事業も多くある。そういった社会的な企業・事業の債権を購入し、投資するのが投資型エコ貯金である。投資型エコ貯金の大きな特徴は「直接つながる」ということである。間接金融である預貯金型エコ貯金の銀行や郵貯よりはもちろんのこと、出資型エコ貯金よりもなおいっそう直接的なつながりを得られるのが投資型エコ貯金の最大のメリットである。投資によってつながった企業に対し、さまざまな場面で株主行動を起こすことで私たちは企業と共に理想の社会に向けて歩むことができる。社会正義や環境に対する理念、価値観を共有できる企業を探し、つながり（投資）し、応援・共闘することで自分の理想に向けて踏み出すのが投資型エコ貯金である。投資型エコ貯金を実践する際には、何よりも投資先のことをよく知ることである。ディスクロージャー誌や環境報告書などを通して入念に調査をし、本当に自分の信念と一致しているか確認しなければならない。



三つのタイプのエコ貯金比較表

	預貯金型	出資型	投資型
概要	社会性という観点も含めて銀行を選択する貯金スタイル	信念を持ったNPOバンクに出資する貯金スタイル	信念を持って企業を選択し、投資することで企業とつながる貯金スタイル
対象	銀行、信用金庫等	NPOバンク等	株式、債券、投資信託等
元本保証	○	×	×
払い戻し	常時	制限あり（団体によって異なる）	常時（価格は随時変動）
収益性	利息（0.001%～）	配当は多くの場合なし	配当＋株式自体の価格変動
事例	労働金庫、滋賀銀行等	未来バンク、NPO夢バンク等	日興エコファンド、あすのはね等
実践のポイント	社会性と健全性・利便性・収益性のバランスを見る。 自分にとって無理なく継続できるバランスを探すのがポイント。	NPOバンクの理念を見る。 さらに出資条件を確認し自分にとって出資できる条件であることを確認するのがポイント。	企業・事業のことをしっかりと調べることがポイント。 信頼の置けるSRI投資信託に投資する手もある。

あなたの エコ貯金度 チェック

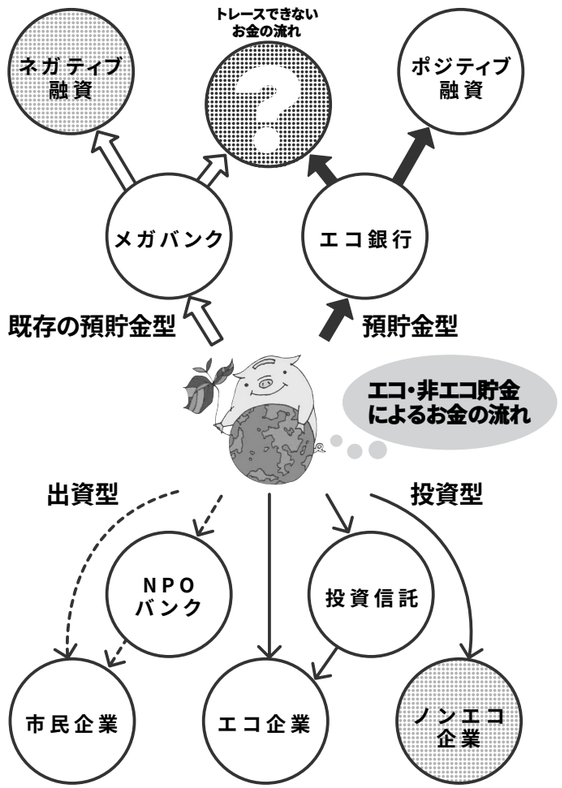
環境配慮型貯金スタイル「エコ貯金」を始めてみるにあたって、あなたのエコ貯金度をチェックしてみよう。まずは20の設問にYes・Noで答えて、Yes数をカウント。その数によって、あなたのエコ貯金度が分かります。エコ貯金のスタイルは、一人ひとり違うもの。チェック結果を参考にしながら、あなた自身のエコ貯金を作り上げてみよう。

TRY!

金融意識

エコ貯金にも金融知識は不可欠。
まずは金融情報に
どれぐらい触れているかをチェック!

1. 年金改革の行方に注目している
2. 銀行の窓口にあるパンフレットやディスクロージャー誌を読んだことがある
3. 銀行の手数料はもっと安くして欲しい
4. 定期預金や財形貯蓄などで計画的に自己資金を増やしている
5. 金融の仕組みや資産運用の方法について書かれた本を買ったことがある
6. ナニワ金融道を読んだことがある
7. 新聞やテレビの経済ニュースはよく見るほうだ
8. 消費者金融からは絶対お金を借りたくない
9. 友人や会社の薦めではなく、自分の意志で保険を選んでいる
10. 地元経済のことにもアンテナを張っている



TRY!

エコ意識

環境への意識はエコ貯金への
道に繋がる。次は日常生活での
エコ意識度をチェック!

11. コーヒーを飲むときは、フェアトレードな豆にこだわっている
12. 将来住む家にはソーラーパネルを取り付けたい
13. 地球環境のため、ささやかにマイ箸orマイカップorマイ水筒、どれか1つ以上持参している
14. なるべく国産の有機野菜を買うようにしている
15. 小泉政権が発行する国債は買いたくない
16. ささやかな寄付はよくするほうだ
17. 少しでも世界の平和に貢献したい
18. 郊外の大型ショッピングセンターよりは、歩いていける地域の商店街のほうが好きだ
19. 市民からの多くの支持を集め、政府や大企業を変えたNGOを3つくらい知っている
20. 市民（区民・町民・村民）便りとか回覧板はよく見るほうだ

あなたのYes数をチェック!

type 01 — 1〜5点 これからジャン! という人

エコ貯金アドバイス

まずは目標貯金額を設定しよう。普段使っている銀行口座は「よく出し入れする口座」として残しつつ、まずは「○×歳までに△□万円」という目標をもち、実現のための専用口座を作ってみよう。「貯めるのが楽しい」口座を選ぶことで、貯金意欲も刺激される効果を期待できるだろう。この口座は「便利さ」ではなく、社会によい取り組みをすることに積極的な銀行という視点で選んでみよう。

type 02 — 6〜10点 手ごろでガッツリ! という人

エコ貯金アドバイス

コツコツと計画的に貯めたいあなたは「貯めるのが楽しい」と思える社会的な取り組みに熱心で、しかも健全性のある銀行を複数選んでみよう。NPO融資に積極的な銀行が特にお勧だ。より直接的に、環境や地域をよくするための資金として活用され続けます。

type 03 — 11〜15点 よ〜く考える! という人

エコ貯金アドバイス

お金の行方に無関心でいられないあなたは出資型エコ貯金、つまり市民による非営利バンクに、自分の将来のための貯蓄の一部（例えば1割前後）を出資してみよう。さらにメインの銀行が預貯金型エコ貯金となるように、積極的に情報を集め、銀行を選び、参加し、変えていきましょう。

type 04 — 16〜20点 貯金もエコで選ぶ! という人

エコ貯金アドバイス

すでに計画的に貯金もしているし、エコなライフスタイルをしているあなたは、預貯金型と出資型の組み合わせを基本に、リスクの低い額をエコ投資にまわして積極的にリターンを得ながら、環境・社会分野で伸びている優良エコ企業を支援する貯金スタイルがお勧め。海外のSRI格付け「ドミニ500」や、イギリス年金ファンドの投資先などを参考にして、「社会的公正さ」をかねそろえた適正規模の経済成長を支えるエコ投資家を目指しましょう。